諏訪形誌活用委員会主催
第九回ウォーキングイベント

舟窪古墳群探訪

七月二十三日（日）、「諏訪形誌活用委員会主催第九回ウォーキングイベント」が行われました。今回は「舟窪古墳群探訪」として、十九人の皆さんにご参加いただき、舟窪平に古墳を見学に行きました。

参加者は「全コース歩く」皆さんと「途中まで車で移動」の皆さんとに分けて募集しましたが、「歩く」人が十五人、「車で移動」が四人と、たいへん元気な皆さんに集まっていただきました。

「全コース歩く」チームは八時半に公民館集合、途中で「森の木二号古墳（未発掘）」を見学した後、森の中のコースを原峠に向かいました。

実はこのコースの途中に玉窓妙金法尼が小庵を建てた跡の石祠があるはずなのですが、草に埋もれてしまい、場所側がわからなくなってしまっていました。ところが、そのことを今回のイベント資料に書き込んだところ「その場所なら知っている」という方から連絡をいただきました。来週には、諏訪形誌活用委員会の委員が調査に入る予定です。

樹間の気持ちのよいハイキングコースを三十分ほどたどると、原峠に着きます。ここで「途中まで車で移動」チームの皆さんと合流。ここは上田市大字御所一番地の標識がある場所です。ここから、前日の雨でややぬかるんでいる山道を辿って、「舟窪古墳群」に向かいます。

原峠から八〇〇ｍほどで「舟窪古墳群」に到着です。

いつもいろいろなことを教えていただいている諏訪形誌活用委員会顧問（元諏訪形誌編集委員会委員長）北沢伴康さんから、古墳についてのいろいろなことを教えていただきました。学問的なお話ももちろんですが、明治時代にはこれらの古墳は「博打穴」とも呼ばれ、玄室の中に隠れて賭博をするような人たちがいたというようなお話や、盗掘のことについてなど興味深い（？）お話しもありました。

その後、足場の悪い中ではありましたが、一号から五号までの古墳を見学しました。

参加者の皆さんからは次のような感想をお寄せいただきました。

・うんと良かったです。古墳の中に入ったのは生まれて初めて。ロマンがあっていいですね。旦那を連れてまた来るんです。私より歴史に興味があるんです。今日は下見を兼ねています。

・船窪の名は知っていたが来たのは初めて。七世紀の古墳が五基もあり、横穴式石室では複数埋葬のことを知ったり、全部初めてのことばかりで勉強になりました。おかげさまでとても楽しく、良かったです。

諏訪形誌活用委員会ではこれからもこのようなウォーキングイベントを企画していく予定です。諏訪形以外の皆さんのご参加も歓迎いたします。

ご連絡、お問い合わせ先は
suwagatashi@gmail.comです。